

審議テーマ案(継続)「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」

テーマ継続が基本路線

- ・「災害」「ユニバーサル」は区民の関心も高い。
- ・区民会議が関わりながら実践をしっかりとやっていきたい。
- ・前半の討議は「自助」を出発点に「防災」をまず知り、体験する取り組み提案が中心になった。「ユニバーサル」まで、まだうまく繋がっていない印象

「ユニバーサル」「世代交流」を意識した検討・実践

- ・「ユニバーサル」には「世代交流」が鍵ではないか
- ・多様な世代や背景の区民に配慮しながら取り組みを進める
- ・多様な区民に参加いただける様な検討・実践を進める
例：高齢者・こども・外国籍・障がい者…

「副題」の検討

- ・分かり易い・伝わる副題
- ・「ユニバーサル」のイメージの統一
- ・(案) みんなで助け合う、強いまち
- ・(案) **降りたくなるまち**

降りたくなるまち

- =通過せずに下車、訪れる
- =誰もが気持ちよく過ごせる
- =より安全な
- ・誰もがわかりやすいサインづくりなどの推進（マップづくり等と合せて）
- ・2020年（オリンピック年）を一つの目標と捉える

課題調査部会→提案実践のプロジェクトチーム

各提案に基づく取り組み実践の実行委員会に近いイメージで進めてはどうか

- 川崎フロンターレサッカードリーム教室…10月15日（日）開催予定
- 中原区総合防災訓練…年度内に二回開催予定（秋・冬）
- 総合防災マップづくり…年度内に制作予定
- その他…まちなかサインの更新、防災情報の発信など

- ・「降りたくなるまち」の言葉だけではつたわりにくい。
- ・その他、なかなか良い表現、統一のイメージが得られなかった。

→結論：副題は「無理に付けない」

資料 2

- ・ 開催回数全 4 回、部会委員は部会長を含め 8 名程度とする。
- ・ 各取組の実践の当日においては、全委員から協力・参加をお願いする。
- ・ 以下の二つの取組を大プロジェクトと捉え、各 2 回の部会をその主な検討・準備の場とする。
 - ①川崎フロンターレサッカードリーム教室…10月15日（日）開催予定
 - ②中原区総合防災訓練（冬）…開催時期未定（年明け）
- ・ その他のプロジェクトについては、事業の検討・実践状況を踏まえながら、機会を捉えて「取組検討・実践部会」「運営部会」「区民会議全体会」内で進捗状況の確認、追加意見や提案の検討、区民会議や区内の各団体で可能な支援や実践等を行うものとする。
- ・ 部会長は全 4 回を通じて同じ委員をお願いする。

[illegible]